

第3回認知症チーム医療・ケアセミナー&第2回認知症地域連携・多職種ワークショップ開催

2017年7月28日

2017年7月28日(金)、『認知症と自動車運転』をテーマに第3回認知症チーム医療・ケアセミナー&第2回認知症地域連携・多職種ワークショップを開催しました。

最初に福井県立すこやかシルバー病院から『自動車運転に固執したアルツハイマー病の一例』のタイトルで症例提示とディスカッションがありました。

続いて八千代病院 認知症疾患医療センター センター長の川畑信也先生より『認知症者の自動車運転：改正道路交通法の概略と認知症診療・介護への影響』、国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 部長の荒井由美子先生より『認知症高齢者の自動車運転を考える：ご本人及び家族介護者への支援の観点から』、金沢大学新学術創生研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット ユニットリーダー 准教授の菅沼直樹先生より『自動運転自動車の高齢過疎地域への導入に対する期待と課題』と題してご講演いただきました。症例提示とディスカッション、講演ともに質疑応答、意見交換が活発に行われました。

本セミナー&ワークショップは、医師だけではなく、看護師、リハビリ療法士、介護福祉士やケアマネージャーなど介護の現場で働かれている方をはじめ、多くの方にご参加いただきました。

参加者アンケートでも、「よかった」「非常によかった」とのお声を多くいただき、大変充実したセミナー&ワークショップとなりました。



開会挨拶：認プロ プロジェクトリーダー
山田正仁教授



症例提示：福井県立すこやかシルバー病院



講師：川畑信也先生



講師：菅沼直樹先生



質疑応答：金沢大学



会場の様子：金沢大学